

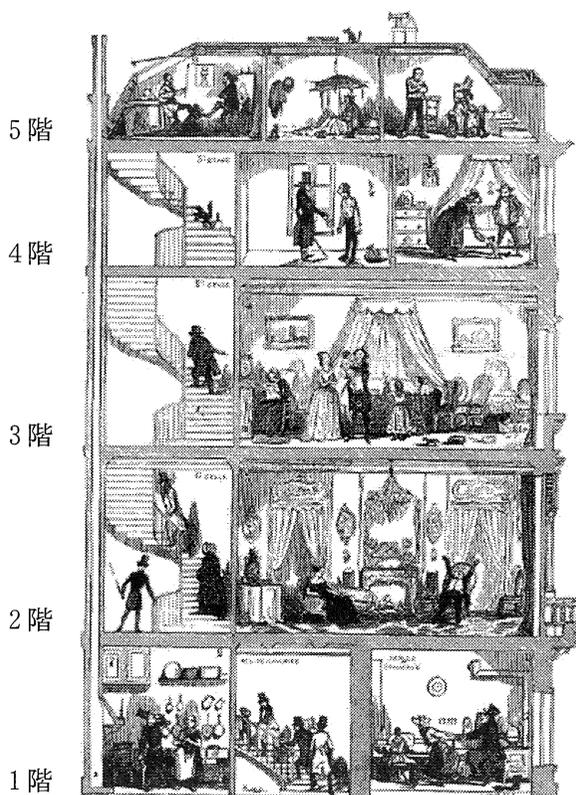
歴史総合，世界史探究

(解答番号 ~)

第1問 歴史総合の授業で、「近現代における都市の変容」という主題について班別学習をした。次の文章A・Bを読み，後の問い(問1～8)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 25)

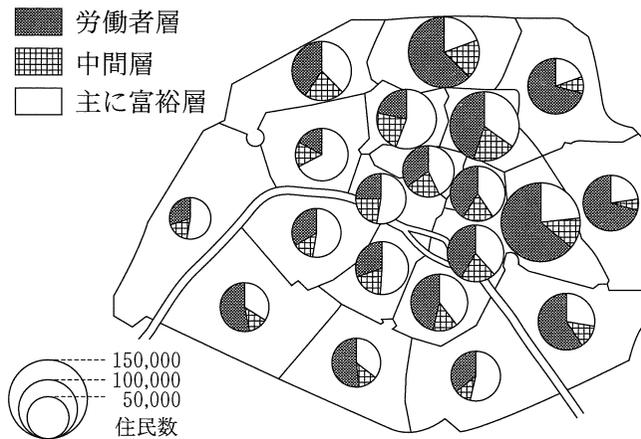
A 本田さんとマルタンさんの班は，近現代における大都市の変容について考察するために，パリと東京に着目した。最初に，フランスの第二帝政下で行われたパリの都市改造について調べ，図1・2を基に，ノート1にまとめた。

図1 パリの集合住宅(19世紀前半)



(E. Texier, *Tableau de Paris*)

図2 パリにおける地区ごとの社会階層分布(1872年)



(F. Braudel / E. Labrousse (dir.), *Histoire économique et sociale de la France*, Tome IIIより作成)

ノート1 パリにおける社会階層による住み分け

- ・ 図1は、19世紀前半のパリの典型的な集合住宅の姿である。2階や3階は間取りが広く調度品も豪華だが、4階や5階は狭く、調度品も少ない。
- ・ 19世紀半ば以降、フランス皇帝の主導の下に、積極的な対外政策とともに、パリの大規模な都市改造が行われた。この改造の結果、図1の居住のあり方は次第に姿を消していった。図2は、1872年の時点で、19世紀前半とは異なる住み分けが存在することを示している。

問1 図1・2及びノート1から読み取れる事柄や、その背景について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① パリでは、高度情報化社会が成立するなかで、富裕層と労働者層は、地域的な住み分けから、垂直的な住み分けに移行した。
- ② パリでは、高度情報化社会が成立するなかで、富裕層と労働者層は、垂直的な住み分けから、地域的な住み分けに移行した。
- ③ パリでは、工業化が進展するなかで、富裕層と労働者層は、地域的な住み分けから、垂直的な住み分けに移行した。
- ④ パリでは、工業化が進展するなかで、富裕層と労働者層は、垂直的な住み分けから、地域的な住み分けに移行した。

歴史総合，世界史探究

問 2 ノート1中のフランス皇帝が在位している間に起こった，フランスの対外関係上の出来事について述べた文あ・いの正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 2

あ フランスは，長州藩に対して，報復の砲撃を行った。

い フランスは，イギリス・ロシアと協定を結び，オスマン帝国領の分割を取り決めた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① あ—正 | い—正 | ② あ—正 | い—誤 |
| ③ あ—誤 | い—正 | ④ あ—誤 | い—誤 |

問 3 本田さんは，次に，江戸・東京における都市構造の変化について，パネル1にまとめた。その内容として誤っているものを，パネル1中の下線部①～④のうちから一つ選べ。 3

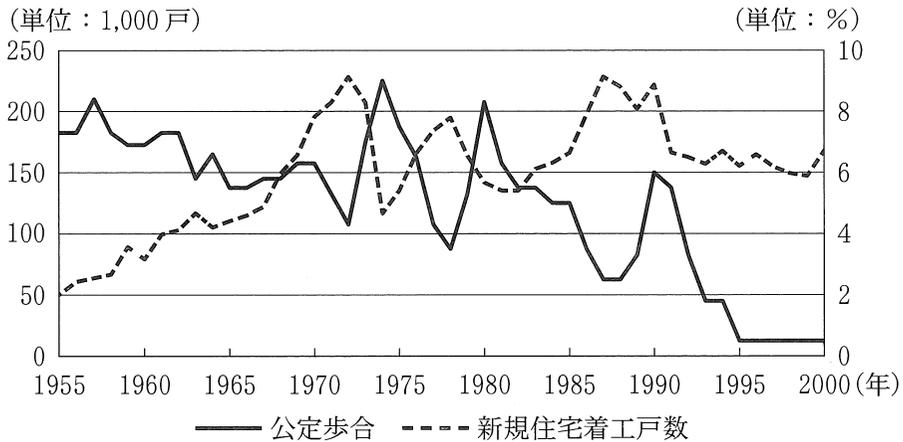
パネル1

- ・江戸の状況：江戸では，居住区域が身分ごとに分けられ，人口は18世紀に100万人を超えていた。その日常生活を支えるために，①物資が南海路や東廻り航路(海運)により各地から江戸に運ばれていた。
- ・旧町人地での文明開化：江戸から東京に改称された②明治初期には，銀座に煉瓦街が建設され，文明開化のシンボルとなったが，そうした動向は，旧町人地の中でもごく一部の地域に限られた。
- ・旧武家地での都市計画：③政府は欧米諸国との条約改正を実現するため，欧化政策の一環として鹿鳴館を建設した。また市区改正という都市計画事業で道路が整備され，旧武家地の都市化が進んだ。
- ・郊外の宅地化：旧町人地の大半では，木造家屋が建ち並ぶ伝統的な商業街や，私的な居住空間が維持されたが，④日露戦争までに，郊外に文化住宅が建てられ，和風・洋風両方の生活様式が取り入れられた。

考 察：パリと東京それぞれで近代化が進み，都市構造も変容した。

問 4 マルタンさんは、さらに東京都の住宅着工戸数と融資(ローン)との関係に興味を持ち、公定歩合(日本銀行が市中銀行に貸し出す際の金利)と新規住宅着工戸数に関するグラフ1を作成した。グラフ1から読み取れる事柄あ・いと、その背景X・Yとについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 4

グラフ1 公定歩合と東京都の新規住宅着工戸数(1955年～2000年)



(『住宅着工統計』各年，日本銀行ウェブサイト公表データ一覧より作成)

グラフ1から読み取れる事柄

- あ 1970年代に、公定歩合と新規住宅着工戸数は、同じ向きに変化した。
- い 1990年代に、公定歩合は低下し、新規住宅着工戸数は伸びずに横ばいとなった。

背景

- X 地価や株価の急落により、平成不況と呼ばれる低成長期となった。
- Y 「列島改造」を掲げた内閣が、公共投資を拡大した。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

歴史総合、世界史探究

B 坂井さんの班は、植民地化されたアジアの都市をテーマにして話し合った。

坂井：①東南アジア各地は、ヨーロッパ諸国によって植民地化されています。例えば、フランスは、19世紀後半に、まずサイゴンを拠点にして、東南アジアの植民地化を進めていきます。

永島：サイゴン近隣のメコンデルタは、米穀生産が盛んな地域ですね。植民地化以前から、この地域で生産された米穀は、華僑・華人によって東アジアや東南アジアの各地に向けて輸出されていました。

吉村：1889年のサイゴンにおける現地の人以外の人口構成を見ると、華僑・華人の方が、主に植民地官僚と商人であったフランス人よりも多く、華僑・華人の活動が継続していたことが読み取れます。植民地化されて、変わったところと、そうでないところがあるのですね。

先生：考察が深まっていますね。植民地と一口に言っても、それぞれの地域の事情や、植民地化を進める宗主国の都合によって、状況は異なります。いくつか主要な都市を取り上げて、比較してみましょう。

問5 下線部①について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① インドネシアでは、オランダから輸入される、特定の農産品への依存が進んだ。
- ② スペインは、マラッカを植民地の拠点とした。
- ③ ビルマ(ミャンマー)は、英領インドの一部として植民地化された。
- ④ カンボジアは、英仏植民地の緩衝地帯として、独立を保った。

問 6 吉村さんは，朝鮮半島の京城(現ソウル)が日本の統治によって変容した様子を調べ，パネル2を作成した。パネル2に関して述べた文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 6

パネル2 1930年代半ばの京城中心部

- ・1936年の京城中心部の人口のうち，日本人の割合は，南部では52%，北部では8.7%であった。
- ・朝鮮人が多い居住地には朝鮮式の「洞」が，日本人が多く居住する地区には日本式の「町」の名称が使われた。
- ・朝鮮総督府の建物は，朝鮮の王宮であった景福宮内に新たに建てられた。
- ・1936年の京城の人口は約68万人で，そのうち日本人は約13万人であった。

- あ 清溪川の南側には，日本語の地名や日本の百貨店が見られる。
- い 朝鮮総督府が移転したのは，日本人住民の割合が大きい地域だった。
- う パネル2が示しているのは，三・一独立運動後の京城である。
- え パネル2の時期に，日本の政府開発援助(ODA)により工業化が進んだ。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

歴史総合，世界史探究

問 7 永島さんは，第二次世界大戦後の香港の経済発展を支えた背景として，1950年代に着目してノート2を作成した。ノート2中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

7

ノート2

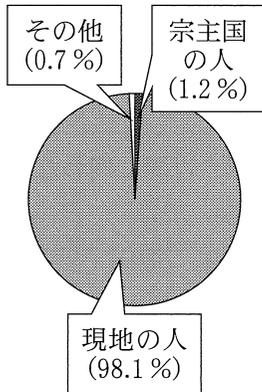
- ・ 香港はもともと中継貿易港として発展していた。イギリス本国からやってきた人は少なく，人口の大部分を占める現地の人のほとんどは，周辺から入ってきた中国人であった。1931年の調査では，非中国人人口は3万人弱で，香港の人口全体の約3％に過ぎなかった。
- ・ 香港には内戦から逃れてきた人々がさらに流入し，人口は60万人(1945年8月)から250万人(1955年)へ急増した。
- ・ 中国の人民義勇軍が **ア** に介入すると，アメリカ合衆国はイギリスに，中国との貿易を停止するよう要求した。この結果，香港と中国との貿易は途絶えたため，香港では，繊維製品やプラスチック製品などを生産する，労働集約型製造業が発展した。

考 察：戦後香港の経済発展の背景には， **イ** があった。

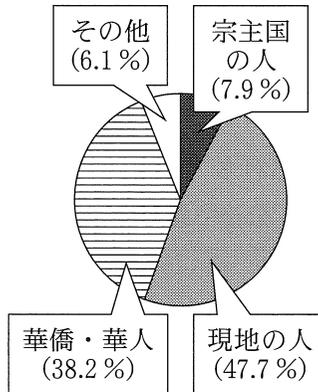
- | | |
|------------|---------------|
| ① アー朝鮮戦争 | イー重工業への優先投資 |
| ② アー朝鮮戦争 | イー周辺からの労働力の流入 |
| ③ アーベトナム戦争 | イー重工業への優先投資 |
| ④ アーベトナム戦争 | イー周辺からの労働力の流入 |

問 8 班活動のまとめとして、これまで取り上げた植民地の都市(1880年代のサイゴン、1930年代の京城、1950年代の香港)について、当時の住民構成が分かるグラフ2～4を用意し、メモを作成した。メモ1・2の正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 8

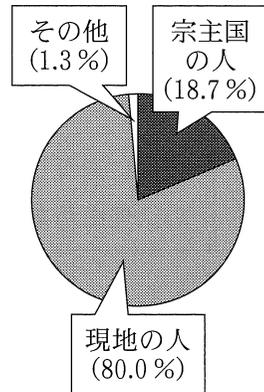
グラフ 2



グラフ 3



グラフ 4



(注) 「現地の人」は、もともとの住民と周辺から流入した人とを合わせたもの。また、四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。
(Hong Kong Statistics 1947-1967 などより作成)

メモ 1

グラフ 4 は、1950 年代の香港の住民構成を示していると考えられる。ノート 2 の内容から、1950 年代の香港で現地の人が占める割合は、1931 年よりも減少しているためである。

メモ 2

グラフ 3 は、1880 年代のサイゴンの住民構成を示していると考えられる。グラフ 3 は、グラフ 2・4 と異なり、その人口の約 4 割を華僑・華人が占めているためである。

- ① メモ 1 のみ正しい。
- ② メモ 2 のみ正しい。
- ③ 二つとも正しい。
- ④ 二つとも誤っている。

歴史総合、世界史探究

第2問 世界史探究の授業で、世界史上における様々な法のあり方とその運用をテーマに、生徒たちが班別学習を行った。次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)

(配点 21)

A 1班は、中国唐代の法について調べ、夜間の通行に関する資料1と、それに基づいて作成された、裁判の模擬問答(資料2)を見つけた。

資料1

夜間に通行した者は、むち打ち20回とする。理由がある場合は罪に問わない。理由がある場合とは、公務で急ぐ時や、疾病などをいう。

資料2

問：甲が夜中に出歩いていたところ、警備の役人が彼を捕らえた。公務があつて早急に朝廷に参内したいと釈明したが、役人は禁令を犯したという理由で、聞き入れなかった。

答：犯罪防止のために、この法があるのである。甲は公務への尽力ばかりを考え、その時間を考えることにかつであつた。朝廷への参内は、色が識別できる時刻に行い、夜間通行禁止の規則に従うべきである。

中 田：資料1は **ア** の一部で、夜間の通行を禁止するとともに、違反した場合の処分を定めています。

佐 伯：資料2は、白居易が官僚を目指す際に、準備のために自作したものですが、裁判の模擬問答を作ったのはなぜでしょうか。

先 生：官僚になると、行政のほか司法を担当することもあったからです。当時の官僚には、儒学の知識や詩文の素養だけでなく、判決文の作成能力、容姿や言葉遣い、文字の美しさなども要求されました。韓愈や柳宗元も、そのような点を評価されて官僚になった人々です。

中 田：資料2の甲の釈明は、資料1を踏まえると、認められるように思つたのですが、白居易は、正当な理由とは認めなかったんですね。

問 1 前の文章を参考にしつつ，に入る語句あ・いと，資料2の「答」に見られる白居易の考えX・Yとについて，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

に入る語句

- あ 令
- い 律

白居易の考え

- X 甲の釈明は正当であり，夜間の通行禁止に違反しない。
- Y 甲の釈明は正当ではなく，夜間の通行禁止に違反する。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

問 2 前の文章を参考にしつつ，唐代の官僚の特徴について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 文治主義の下，文人官僚が政治を担った。
- ② 封建制の下，世襲の諸侯が政治を担った。
- ③ 儒学の教養を身につけた官僚の中には，古文の復興を主張する者もいた。
- ④ 中央アジアや西アジア出身の色目人と呼ばれる人々が，財政面で活躍した。

歴史総合，世界史探究

B 2班では，中世ヨーロッパにおける慣習法についての発表を準備している。

小 澤：中世ヨーロッパの農村社会についてもっと詳しく知るために，13世紀のフランス北部ボヴェジ(ポーヴェ)地方でまとめられた『ボヴェジの慣習法』(資料3・4)を持ってきたよ。

資料3

3月に麦を播種^{はしゆ}すべき土地は，播種のために犁耕^{りこう}された後，禁区となる。また，牧草地は，3月半ばから草が刈り取られる時期まで，囲い地は，全季節にわたり，森も全季節にわたって，禁区となる。牧草地では，どの季節においても，豚は許されない。なぜなら豚は，土を掘り返すことで牧草地を悪化させるからである。

資料4

ボヴェジでは，農奴は他の地方に比べて丁重に扱われてきた。彼らは自らの領主に対して，慣習で定められた貢納の義務を果たす限りにおいて，その領主の裁判権の及ばない所へと奉仕しに行くことができ，また移り住むことができるのである。

永 井：資料3では，土地の利用方法について，具体的な規則が定められているね。

中 島：そう言えば11世紀頃から農村では，イと授業で習ったよ。

小 澤：④その時期から新しい農具が普及し，耕地利用の仕方が変わっていったことが，農村社会の変化を促したんだよね。

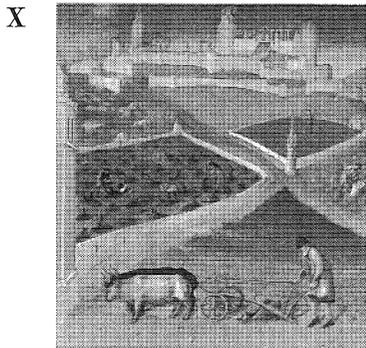
中 島：資料4では，授業で学んだ荘園における農奴の立場とは，異なる立場が見て取れるよ。

永 井：慣習法を見ることで，中世の農村社会の具体的な状況が分かって興味深いね。

問 3 前の文章を参考にしつつ，会話文中の空欄 **イ** に入る文あ・いと，下線部②の状況の根拠となるものが表現されている図 X・Y について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

イ に入る文

- あ 耕作地や牧草地が共同で利用されていた
- い 大地主が村の共有地を手に入れ，大農場にしていた



- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

問 4 前の文章を参考にしつつ，中世ヨーロッパの農奴について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **12**

- ① 荘園では，農奴に移住の自由があったとされ，資料 4 からは，ボヴェジ地方の農奴には，条件付きで移住の自由が認められていたことが分かる。
- ② 荘園では，農奴に移住の自由があったとされるが，資料 4 からは，ボヴェジ地方の農奴には，移住の自由がなかったことが分かる。
- ③ 荘園では，農奴に移住の自由がなかったとされるが，資料 4 からは，ボヴェジ地方の農奴には，条件付きで移住の自由が認められていたことが分かる。
- ④ 荘園では，農奴に移住の自由がなかったとされ，資料 4 からも，ボヴェジ地方の農奴には，移住の自由がなかったことが分かる。

歴史総合、世界史探究

C 3班は、博物館の「世界史の中の法廷」展を見学した。そこに、19世紀末の資料5・6と地図、それらについて解説したパネルが展示されていた。

資料5

原告は、被告に対して銀貨27キルシュの支払いを要求した。しかし、被告は、これを拒否した。そこで、原告側の2人の証人が証言に立ち、私の前でアッラーに対して証言したので、その証言は承認された。私は、原告の訴えを認め、被告に支払いを命じる判決を下した。

資料6

ブラヴァの **ウ** 領事であるカペッコ氏が、2棟の館をヌーライニ氏から購入した。それらの総額は、銀貨427キルシュであった。その全額を売主が受領したので、買主は、売却物を合法的に入手した。この売買は正当であり、双方の合意と自由意志による。このことについて、5人が証言した。それにしても、証言者としてはアッラーで十分である。

地図



パネル

【地図について】

19世紀末以降，エチオピアの周辺地域は，列強によって複雑に分割され，各国の植民地となっていました。aはフランス領，bは 領，cは 領です。

【資料について】

地図中のブラヴァのカーディー(イスラーム法に基づいて裁定を下す裁判官)が ^{つかきど}司っていた法廷の記録です。これらが書かれた19世紀末，ブラヴァが位置する地域は の保護領でしたが，保護領における司法のあり方は一般に多様なものです。文中の「キルシュ」は貨幣の単位です。

- ・資料5は，ブラヴァ周辺の住民間の金銭をめぐる係争の記録です。原告，被告，証人はムスリムです。文中の「私」はカーディーを意味しています。
- ・資料6は， 領事がブラヴァにある家屋をムスリムの住民から購入したことを証明する記録です。証言をした5人もムスリムです。末尾にある「それにしても，証言者としてはアッラーで十分である」は、『クルアーン(コーラン)』の一節で，ここでは，定型表現として引用されています。

問5 パネル中の空欄 ・ に入る国名の組合せとして正しいものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① ウーイギリス エードイツ
- ② ウーイギリス エーイタリア
- ③ ウードイツ エーイギリス
- ④ ウードイツ エーイタリア
- ⑤ ウーイタリア エーイギリス
- ⑥ ウーイタリア エードイツ

歴史総合，世界史探究

問 6 3班の生徒たちは，見学を終えた後，メモ1・2を作成した。前の文章を参考にしつつ，それぞれのメモの正誤について述べた文として最も適切なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 14

メモ1

資料5から判断すると，この法廷では，金銭の支払いをめぐる係争に判決を下す際，証人の証言が根拠にされていたと考えられる。

メモ2

資料5・6から判断すると，この法廷では，宗主国の法律ではなく，シャリーアに則して裁定が下されていたと考えられる。

- ① メモ1のみ正しい。
- ② メモ2のみ正しい。
- ③ 二つとも正しい。
- ④ 二つとも誤っている。

- 問 7 班別学習の後，さらに探究を続けた江上さんは，古代ローマの法である資料 7 を見つけ，それについて調べた内容をノートにまとめた。ノート中の空欄 **オ** に入る人名と **カ** に入る班の組合せとして正しいものを，後の ①～⑥のうちから一つ選べ。 **15**

資料 7

誰のところであれ，他人の権利に属するコロヌスが見つかった場合には，その者はそのコロヌスを原籍地に還す^{かえ}だけでなく，それまでの期間にコロヌスに課せられる人頭税の負担をも受け入れなくてはならない。また，逃亡をもくろむコロヌス自身は，鉄鎖によって奴隷の状態へと縛り付けられるのが適当である。それは，自由人にふさわしい責務を，奴隷状態を宣告することで彼らに果たさせるためである。

ノート

- ・資料 7 に現れるコロヌスは小作人を意味する。 **オ** 帝は，資料 7 の法を発布することで，コロヌスの地位を法的に確定させようとした。ただし，この法の実効性や有効範囲については，様々な議論がある。
- ・農業に従事した人々への制約については， **カ** の学習内容と比較することができる。

- | | | | |
|---|-------------|---|-----|
| ① | オーコンスタンティヌス | カ | 1 班 |
| ② | オーコンスタンティヌス | カ | 2 班 |
| ③ | オーコンスタンティヌス | カ | 3 班 |
| ④ | オーカラカラ | カ | 1 班 |
| ⑤ | オーカラカラ | カ | 2 班 |
| ⑥ | オーカラカラ | カ | 3 班 |

歴史総合、世界史探究

第3問 世界史探究の授業を受けた生徒たちが、歴史に触れるきっかけや、歴史を伝える手段について考えている。次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～6)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 18)

A 生徒たちが放課後に、フランス革命を描いたマンガについて話し合っている。

図1



図2



(図1・2ともに池田理代子『ベルサイユのばら』)

中山：『ベルサイユのばら』というマンガを読んできたよ。主人公の一人のオスカルは、作者が創作した架空の貴族の女性だけど、図1のように、民衆側に立って、革命の発端とされる襲撃に参加するんだ。

星野：② 現実の革命の過程でも、女性が大きな役割を果たす場面があったね。でも、どうしてオスカルは、男装しているのだろう。

中山：オスカルの父はフランスの将軍で、娘しか生まれなかったから、自分の地位を継がせるために、末娘のオスカルを男性として育てたんだよ。

星野：図2では、オスカルが父親に「普通の女性として育てていたら、私も15歳になる頃には嫁がされたのか」という趣旨のことを言っているね。

中山：当時の貴族の女性は，家父長である父親や夫に対して，従属的な立場に置かれていたと考えられるね。革命後，ナポレオン法典によって，ア。過去の人々の，記録に残されない感情や葛藤も描けるのが，フィクション作品の強みかもしれない。

星野：とはいえ，具体的で感情移入もしやすい分，事実と異なる描写に気付きにくい場合もあるから，注意は必要だよ。

問 1 次の文Ⅰ・Ⅱは，フランス革命に関連する出来事について述べている。図 1 に描かれている出来事と，文Ⅰ・Ⅱとについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。16

- Ⅰ ロベスピエールらが，公安委員会を通じて，反対派を粛清した。
Ⅱ フランスが，アメリカ独立戦争に参戦した結果，財政難に陥った。

- ① Ⅰ — Ⅱ — 図 1
② Ⅰ — 図 1 — Ⅱ
③ Ⅱ — Ⅰ — 図 1
④ Ⅱ — 図 1 — Ⅰ
⑤ 図 1 — Ⅰ — Ⅱ
⑥ 図 1 — Ⅱ — Ⅰ

歴史総合，世界史探究

問 2 会話文中の下線部㉔に関して述べた文あ・いと，空欄 **ア** に入る文 X・Y について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

17

下線部㉔に関して述べた文

あ 女性を中心とした多数の民衆がヴェルサイユに行進し，国王一家をパリへ連行した。

い オランプ＝ド＝グージュは，ラ＝ファイエットらとともに「人権宣言」の起草に関わった。

ア に入る文

X 家父長権は肯定されたよ

Y 家父長権は否定されたよ

① あ－X

② あ－Y

③ い－X

④ い－Y

歴史総合，世界史探究

B 生徒たちが，翌週の世界史探究の授業後に，先生に質問している。

星 野：先日，歴史を題材にしたマンガの話題になりました。このように私たちが歴史に触れる媒体には，他にどんなものがあるのでしょうか。

先 生：⑥過去や同時代の出来事を伝える手段としては，文字と文章が，広く用いられてきました。ただし最近では，絵画や風刺画が歴史上果たした役割や，歴史を知る上で果たす役割も注目されるようになっています。

中 山：そう言えば，オスマン帝国支配下のキオス島で起こった事件を「虐殺」として描いた絵画が，その臨場感ゆえに，ヨーロッパの世論に影響を与えたと聞いたことがあります。

先 生：そうですね。絵画や風刺画などの視覚的効果が，特定のメッセージや歴史像を増幅する可能性も想起すべきでしょう。

星 野：棍棒外交を展開したアメリカ合衆国大統領については，巨人の姿で描かれた風刺画で，強硬な外交姿勢が強調されていますね。

先 生：とはいえ，こうした特定の主張の介在は，文章の場合もあり得る話です。どのような手段に関しても，作者など，発信者側の意図や立場にも留意する態度が求められるでしょう。

中 山：記念碑や彫像などもまた，歴史に触れる手段になりそうですね。

問 3 下線部⑥の具体例について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 『史記』は，支配者の年代記とその他の人物の伝記とを組み合わせた形式で記述された。
- ② ユーラシアの東西を広く扱った『集史』は，モンゴル語で著された。
- ③ ラス＝カサスは，エンコミエンダ制の問題を告発する報告書を著した。
- ④ ランケは，残された史料の批判に基づく歴史学を追求した。

歴史総合，世界史探究

問 4 星野さんと中山さんは、同時代の出来事を扱った絵画や風刺画に興味を抱き、自分たちでも新たに幾つか調べてみた(図3・4)。前の会話文を参考にしつつ、そのような絵画や風刺画に関連する内容について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 19

図 3

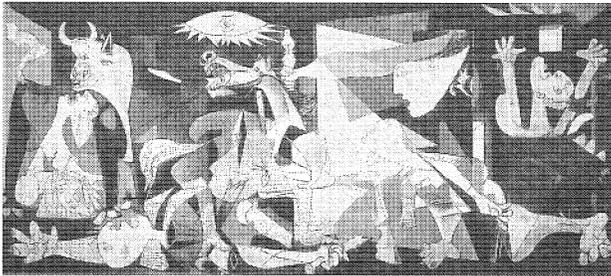


図 4



- ① 会話文では、「キオス島の虐殺」のように、視覚的効果が大きい絵画においては、作者の立場や意図について考慮する必要がないとする見解が示されている。
- ② 会話文中に登場するアメリカ合衆国の大統領は、ラテンアメリカへの干渉の一方で、日露戦争の講和を仲介したことでも知られる。
- ③ コソヴォ紛争に伴う都市への空爆を題材とした図3は、事件への怒りを伝えている。
- ④ 図4でアフリカを縦断するように足を広げた人物の姿は、両足先の二つの地域を植民地化したフランスの自信を象徴している。

C 記念碑や彫像に興味を持った中山さんは，カザフスタンの都市アルマティにある女性兵士像について調べ，パネルを作成した。

パネル

【女性兵士像について】

- ・女性兵士像は，1997年にアルマティの中心広場に設置された。ここには，1957年以來，レーニン像が設置されていたが，1997年に撤去された。
- ・モデルとなったカザフスタン出身の二人の女性兵士は，レニングラードを防衛する戦いのなかで，1943年と1944年に戦死した。

女性兵士像

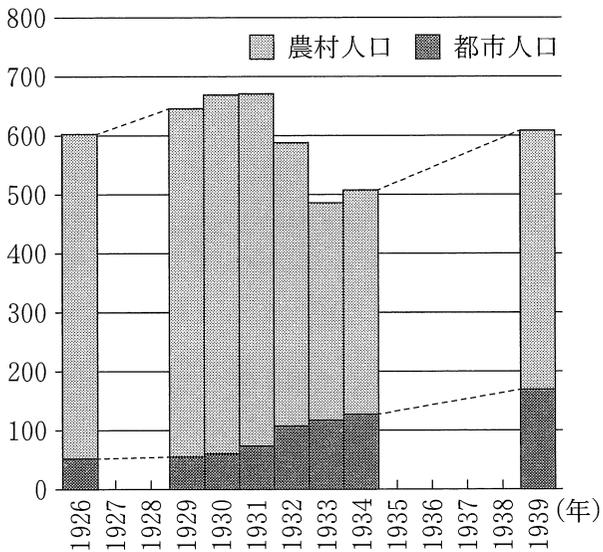


【ソ連期のカザフスタンについて】

- ・1930年代前半に，大規模な農業集団化が行われた。
- ・1940年代末以降，数百回の核実験が行われ，住民の健康被害が多発した。
- ・右のグラフは，一部欠損値はあるが，1926～1939年のカザフスタンにおける人口の推移を示すものである。

グラフ

(単位：万人)



(N. Pianciola, "Famine in the Steppe" などより作成)

歴史総合，世界史探究

問 5 グラフから読み取れる事柄あ・いと，その背景として考えられる文X・Yと
について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

20

グラフから読み取れる事柄

あ 1926年から1939年までに，都市の人口が10倍以上増加した。

い 1931年から1933年までに，総人口は100万人以上減少した。

背景

X 農業集団化によって農村は混乱し，各地で大量の餓死者が発生した。

Y 世界恐慌によって発生した大量の失業者が，都市へと流入した。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

問 6 中山さんのパネルを見た星野さんは，パネルの内容についてさらに調べ，メモ1・2にまとめた。それぞれのメモの正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

21

メモ1

ソ連期のアルマティでは，十月革命の指導者の像が建てられた。ソ連期のカザフスタンでは，核実験によって，多くの住民に健康被害が発生していた。

メモ2

アルマティの中心広場に建てられた女性兵士像のモデルとなった二人の女性兵士は，独ソ戦で命を落とした。

- ① メモ1のみ正しい。 ② メモ2のみ正しい。
③ 二つとも正しい。 ④ 二つとも誤っている。

第4問 歴史上に見られた様々な「帝国」のあり方について，生徒たちが資料に基づいて探究している。次の文章A～Cを読み，後の問い(問1～6)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 18)

A ある日の世界史探究の授業で，先生が次の資料1・2を示した。

資料1

スガンプリ族へカエサルが使者を送って，ローマ軍とガリアに戦争を仕掛けた者たちの引渡しを要求すると，彼らはこう返答した。「ローマ人のインペリウムはライン川までだ。カエサルの意に反してゲルマニア人がガリアへ渡ることを，カエサルが不当と考えるなら，なぜカエサルは，自分のインペリウムや権限が，ライン川の向こう岸に及ぶことを求めるのか。」

先生：資料1は，カエサルの『ガリア戦記』の一節です。

木村：「インペリウム」という言葉が二度出てきます。この言葉は，英語の「エンパイア」の語源で，日本語では「帝国」と訳されます。一度目の「インペリウム」については，ローマ人の「帝国」の領域はライン川までだった，という意味で理解できますね。

古田：すると，ローマは **ア** のですね。しかし，二度目の「インペリウム」という言葉の意味は，それとは違う気がするのですが。

先生：良い点に気づきましたね。「インペリウム」という言葉はもともと，この二度目のように，ローマの公職者が持つ「命令権」を意味していました。その後，都市国家ローマの支配が拡大するなかで，各地に派遣された公職者の「命令権」だけでなく，その権限の及ぶ範囲も意味するようになります。

清水：つまり，権限を表す言葉が後に地理的な意味も持ち，一度目の箇所のように，ローマの「支配領域」や「帝国」を意味するようになったのですか。

先生：そのとおりです。そして帝政期には，ローマが領域的な「帝国」であるという認識が定着し，その認識は，ローマ帝国が東西分裂して以降も変わらず続きます。資料2は，五賢帝時代に書かれた著作の一節です。ここから当時の「インペリウム」のイメージを読み取ってみましょう。

歴史総合，世界史探究

資料 2

アウグストゥス帝は，征服によって手に入れた王国のうち，わずかを除き，奪っていた王位を元の王に返却するか，あるいは他の王国に併合させた。これら全ての王国を，あたかもインペリウムの一部とみなして気を配り，年齢の上で幼いか，精神的に問題のある王には，彼らが成年に達するまで，あるいは健全な精神を取り戻すまで，いつも後見人を指名していた。

- 問 1 前の文章を参考にしつつ，会話文中の空欄 **ア** に入る文あ・いと，資料 2 から読み取れる内容 X・Y とについて，最も適当なものの組合せを，後の ①～④ のうちから一つ選べ。 **22**

ア に入る文

- あ 元首政の開始とともに，初めて「ローマ帝国」となったと言える
- い 共和政の時代から，「ローマ帝国」と呼べる存在だった

資料 2 から読み取れる内容

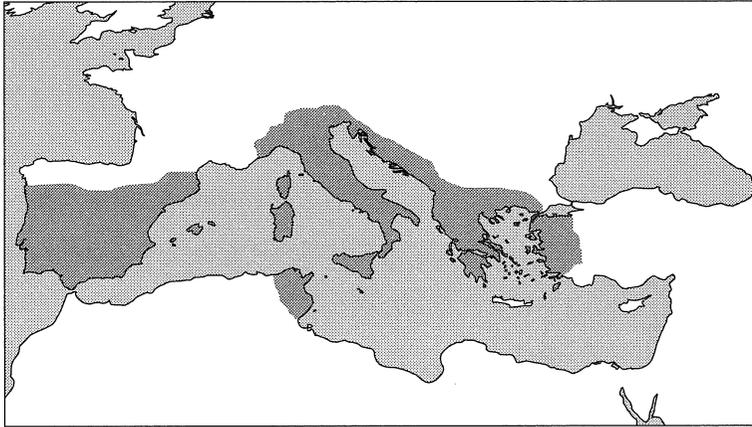
- X アウグストゥス帝時代のローマ帝国は，支配下に入った諸王国の多くを直轄領とし，集権的な体制を確立した。
- Y アウグストゥス帝は，復活させた諸王国についても，帝国の一部とみなしていた。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

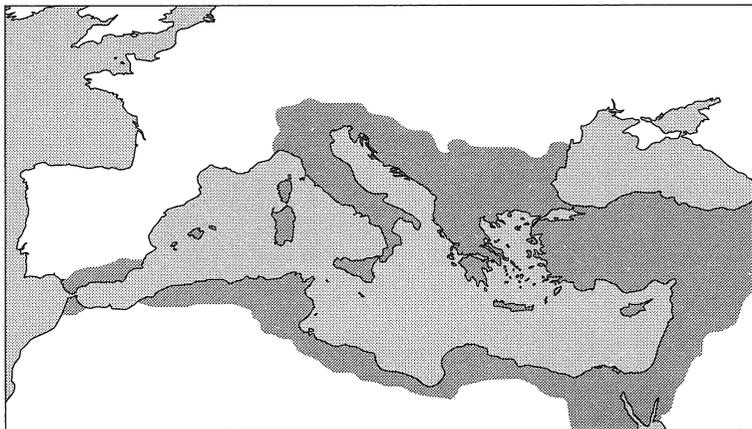
問 2 次の図Ⅰ・Ⅱは，ある時代にローマ人やローマ皇帝の「インペリウム」が直接及んだ領域を示している。前の文章を参考にしつつ，資料2が書かれた時代の領域と，図Ⅰ・Ⅱとについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

Ⅰ



Ⅱ



- | | |
|---------------|---------------|
| ① I — Ⅱ — 資料2 | ② I — 資料2 — Ⅱ |
| ③ Ⅱ — I — 資料2 | ④ Ⅱ — 資料2 — I |
| ⑤ 資料2 — I — Ⅱ | ⑥ 資料2 — Ⅱ — I |

歴史総合，世界史探究

B 次の授業では，生徒たちが図書室で見つけた本について話し合っている。

田 口：ムガル帝国期のグジャラート地方について書かれた本を見つけたよ。このページ(資料3)を見てくれるかな。

資料3



ムガル帝国の最盛期に，芸術や工芸が高度に発達し，^{しゃ}奢侈な生活様式が広まった。このことは，グジャラートで栄えたヒンドゥー教のヴィシュヌ派教団が祭る，シュリーナートジーという名の神(左挿絵)の豪華な聖衣や装飾にうかがえる。そこには，イラン＝イスラーム文化がインドにもたらした美しい影響が示されている。

(R. Parikh, et al., *Gujaratno Rajkiy ane Sanskritik Itihas*)

坂 本：ムガル帝国ってイスラーム王朝だったよね。なぜヒンドゥー教の神々も拝まれていたのかな。

田 口：ムガル帝国最盛期の皇帝の一人アクバルは，広大な領土を持つ帝国の様々な宗教文化を尊重する融和政策をとったんだ。これによって，ヒンドゥー教の諸宗派も大いに発展した。シャー＝ジャハーン^①の治世でも，長男のダーラー＝シコー^②が，スーフィズムとウパニシャッド哲学とが共通していると考え，様々なヒンドゥー教の経典を，ペルシア語に翻訳したそうだよ。

坂 本：でも，シャー＝ジャハーン^①の後に皇帝になったのは，ダーラー＝シコー^②と対照的な思想を持ったアウラングゼーブ^③だったよね。

田 口：そうだね。③アウラングゼーブの治世においては，ムガル帝国の文化や政治を考える上で，重要な変化があったんだ。

問 3 下線部㉔について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① インド＝イスラーム文化が最盛期を迎え，タージ＝マハルが建立された。
- ② 偶像崇拝を禁止するシク教が，ナーナクによって創始された。
- ③ デリー＝スルタン朝最後の王朝であるロディー朝が打倒された。
- ④ ムガル帝国の領土は最大となったが，各地で対抗勢力が強まった。

問 4 前の文章を参考にしつつ，ムガル帝国期に見られた宗教や文化について述べた文あ・いの正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 25

あ シュリーナートジー神の衣装は，ヒンドゥー文化とイラン＝イスラーム文化とが融合したことを示している。

い ダーラー＝シコーは，アッラーとの一体感を求める思想と，ブラフマンとアートマンとの同一性を悟ろうとする古代インド思想とが，共通すると考えていた。

- ① あ－正 い－正
- ② あ－正 い－誤
- ③ あ－誤 い－正
- ④ あ－誤 い－誤

歴史総合，世界史探究

C 生徒たちが，スペインの繁栄とその後について，先生と話し合っている。

先生：スペインは，フェリペ2世統治下の16世紀後半には，世界帝国として君臨し，「太陽の沈まぬ帝国」とも呼ばれていましたが，次第に衰退していきました。

寺内：19世紀前半には，ラテンアメリカ諸国が独立していきましたね。

高崎：それにもかかわらず，キューバはその後もスペインの植民地にとどめられました。そのためナショナリズムが高まり，独立運動が続きました。

先生：一方で，19世紀末のカリブ海地域では，アメリカ合衆国が台頭していました。当時のキューバ独立運動の指導者ホセ＝マルティが，1891年に雑誌に寄稿した論説(資料4)を見てみましょう。

資料4

アメリカ大陸は様々な危険を乗り越えて今に至っている。だが，このような危険とは別の危険に，「我らのアメリカ」は，恐らく晒^{さら}されている。

「我らのアメリカ」を軽んじる強国が，近い将来，親密な関係を要求しつつ近づいてくるだろう。「北のアメリカ」が野望へ向かって一気に走り出す日は，間近に迫っている。「我らのアメリカ」について何も知らない，強大この上ない隣国が軽率な行動に出ることが，我々の最大の危険なのである。

(ホセ＝マルティ「我らのアメリカ」)

寺内：言葉の使い方が特徴的です。 「我らのアメリカ」とは，イのことですか。

先生：そのとおりです。

高崎：しかし，アメリカ合衆国は，キューバの独立運動を支援するために，
① アメリカ＝スペイン戦争を起し，その結果，キューバは独立しました。独立は，アメリカ合衆国のおかげとは言えないでしょうか。

寺内：それは一面的な見方です。確かにキューバは独立しましたが，プラット条項によって，アメリカ合衆国の事実上の保護国になったのですから。

- 問 5 会話文中の空欄 に入る語句あ・いと，下線部①の結果，アメリカ合衆国が領有した場所 X・Y について，最も適当なもの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

に入る語句

- あ スペインの覇権に対抗する，キューバとアメリカ合衆国との連合
い アメリカ合衆国の脅威に対抗する，キューバも含むラテンアメリカ

場 所

X フィリピン Y アラスカ

- ① あ—X
② あ—Y
③ い—X
④ い—Y

歴史総合，世界史探究

問 6 世界史上の「帝国」のあり方について探究した生徒たちは，さらに考察を深め，その結果をメモ 1～3 にまとめた。それぞれのメモの正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

メモ 1

キューバがスペインからの独立を求めた背景には，ナショナリズムの影響があった。古代のローマ帝国の支配が終わった時代にも，自立に向けた諸民族の動きが見られた。国民国家建設を目指す独立運動が繰り広げられた点で，両者は類似していると考えられる。

メモ 2

フェリペ 2 世は，プロテスタントを弾圧したため，オランダ独立戦争を招いた。イスラームを篤く信仰したアウラ^{あつ}ングゼーブは，ヒンドゥー寺院の破壊などを命じ，反発を招いた。不寛容な宗教政策が，帝国衰退の要因の一つとなった点で，両者は類似していると考えられる。

メモ 3

アウグストゥス帝は，ローマ帝国の一部とされた諸王国に，王を復位させた。アクバルは，マンサブダール制を導入して地方分権を進めた。地方の政権が維持されたという点で，両者の帝国統治のあり方は類似していると考えられる。

- ① メモ 1 のみ正しい。
- ② メモ 2 のみ正しい。
- ③ メモ 3 のみ正しい。
- ④ メモ 1 とメモ 2 のみ正しい。
- ⑤ メモ 1 とメモ 3 のみ正しい。
- ⑥ メモ 2 とメモ 3 のみ正しい。

第5問 世界史探究の授業で、「税制度と社会変容」というテーマについて，発表に向けた班別学習を行った。各班の活動に関連した次の問い(問1～5)に答えよ。
(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 18)

問1 1班は，明清時代の中国における税制度の変化がもたらした社会変容について，パネルを作成した。パネルから読み取れることやその背景について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 28

パネル

【税制度の変化と対応】

明清時代の中国では，財政効率化のために，指定の純度の銀での納税が求められるようになった。

- ・市場では，様々な純度や形状の銀が，取引に使われていた。そこで農民は納税に際し，生産物を商人に売却して銀を手に入れた後，銀の純度の調整を職人に依頼し，県の役所まで自分で出掛けて納入することが必要になった。いずれも高額な経費が必要だった。
- ・官僚経験者や科挙合格者をはじめとする地域有力者たちは，県の行政事務に協力することで，商人，職人，役人よりも優位に立っていた。このため，彼らは納税に関わる高額な経費を支払う必要がなかった。

【社会の変容】

地域有力者は，上記の立場を利用し，納税代行に従事して，富を蓄積するようになった。彼らによる納税代行は，納税側，徴税側どちらにとっても都合が良かった。

- ① 明清時代の中国では，交子や会子と呼ばれる紙幣も利用された。
- ② 納税手続きに関与することは，郷紳にとって，蓄財の機会となった。
- ③ 明代に創始された両税法に基づき，銀での納税が求められた。
- ④ 生産物を納税用の銀に換える経費は，政府が負担した。

歴史総合，世界史探究

問 2 2班は，オスマン帝国の税制に関する勅令の一部(資料1)を見つけて，話し合った。会話文中の空欄 **ア** に入る語句と， **イ** に入る文との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

資料1

徴税を請け負った者たちは，自分の請負期間は1年または2年であると言って，収穫物の全てを奪おうとする。このため，農民の多くは逃亡し，村々は荒廃し，税収も減少して，国庫に甚大な損害が生じている。

木 田：オスマン帝国の税制は，17世紀になると **ア** から徴税請負制に変わりました。なぜでしょうか。

ギョル：戦争形態の変化や財政の悪化が，背景にあったと言われます。しかし，資料1からは，新たな問題が生じたことが分かりますね。

木 田：つまり， **イ** ということでしょうか。

ギョル：そのとおりです。これに対して，帝国政府は請負期間を終身にしました。この結果，地方社会では，徴税請負を通して富を蓄え，それを利用して土地を集積した有力者が台頭することになります。

- ① **ア**— 農地の徴税権を分与する制度
イ— 短期間に利益を最大化しようとした結果，激しい収奪が行われた
- ② **ア**— 農地の徴税権を分与する制度
イ— 長期的に利益を確保しようとしたが，農民の理解を得られなかった
- ③ **ア**— 非ムスリムに人頭税を課す制度
イ— 短期間に利益を最大化しようとした結果，激しい収奪が行われた
- ④ **ア**— 非ムスリムに人頭税を課す制度
イ— 長期的に利益を確保しようとしたが，農民の理解を得られなかった

- 問 3 3 班は，ヨーロッパの関税について調べ，ドイツの経済学者リストがまとめた請願書(資料 2)を見つけた。資料 2 を参考にしつつ，リストの主張に合致すると考えられる文あ・いと，それと同様の考えや背景があると推測される事例 X・Y について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

30

資料 2

ドイツでは，関税と通行税を取る 38 の境界線が，域内の交通を麻痺まひさせています。あたかも人間の四肢が縛られ，血液が他の臓器に流れないのと同様の作用を引き起こしています。ハンブルクからオーストリアへ，10 に及ぶ諸邦を横切る際に，それぞれの関税規則を調査し，通過関税を支払わねばなりません。ここに署名をした忠実なる者は，崇高なるドイツ連邦議会に謹んでお願いいたします。

1. ドイツ域内の関税を廃止すること。
2. ドイツ以外の諸国民がヨーロッパで通商の自由原則を承認するまで，彼らに対して共通の関税を設定すること。

(*Deutsche Geschichte in Quellen und Darstellung*)

リストの主張

- あ 諸外国が通商の自由を認めているので，後発国のドイツ諸邦はドイツ以外の国々に対して，関税を撤廃すべきである。
- い 諸外国が通商の自由を認めていないので，後発国のドイツ諸邦はドイツ以外の国々に対して，共通して関税をかけるべきである。

事 例

- X コブデンやブライトらによって主張された穀物輸入に関する政策
- Y 南北戦争直前のアメリカ合衆国北部諸州で主張された貿易政策

- ① あ－X ② あ－Y ③ い－X ④ い－Y

歴史総合，世界史探究

- 問 4 4班は，第二次世界大戦直後に締結されたある協定を取り上げ，その第1条（資料3）を基に考察し，その内容をノートにまとめた。ノート中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

資料3

輸出入の際に課される関税と手数料に関して，一つの締結国が，輸出入される産物に対して有する利益，恩恵，特権は，他のあらゆる締結国にも，即刻かつ無条件に認められる。

ノート

- ・この協定は，第二次世界大戦後の経済的な世界秩序を築くことを，目的としていた。
- ・この協定が締結された歴史的背景として， への反省がある。
- ・イギリスは消極的な姿勢を示していたのに対して， は，この協定の成立に積極的な役割を果たした。

- ① 株式市場で投機的な動きが活発化し，アジア通貨危機が発生したこと
 アメリカ合衆国
- ② 株式市場で投機的な動きが活発化し，アジア通貨危機が発生したこと
 ソ 連
- ③ ブロック経済の成立によって，世界経済が分断されたこと
 アメリカ合衆国
- ④ ブロック経済の成立によって，世界経済が分断されたこと
 ソ 連

問 5 各班の発表を聞いたあなたは、モンゴル帝国がユーラシア大陸に広く影響を与えた時期の中国における税に興味を持ち、資料 4・5 を見つけ、探究活動を続けることにした。参照する資料やパネル及び事例と、探究活動の方針とについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

32

資料 4 クビライの治世における命令(『元史』の一節)

- ・上都の商税(商品の取引価格に応じて徴収される税)は、通常、取引価格の三十分の一であるが、六十分の一にする。(1283年7月)
- ・大都の商税は、通常、取引価格の三十分の一であるが、四十分の一にする。(1283年9月)

資料 5 高麗で作成された漢語会話文集『ろうきつだい老乞大』の一節

仲 介 人：買い手が商税を払う決まりになっている。
大都の商人：この馬を俺が買った分の商税は、いつ払うんだい。
仲 介 人：おやすい御用さ。私が商税を役所で払ってきてあげよう。

- ① 減税措置について述べる資料 4 と、1 班が作成したパネル及び 2 班が見つけた資料 1 とを参照して、税率の変更が流通にもたらした影響について探究する。
- ② 増税措置について述べる資料 4 と、3 班が見つけた資料 2 及び 4 班が見つけた資料 3 とを参照して、税率の変更が流通にもたらした影響について探究する。
- ③ 1 班及び 2 班が取り上げた事例と、資料 5 に見られる仲介人の役割とを参照して、納税や徴税の具体的な仕組みについて探究する。
- ④ 3 班及び 4 班が取り上げた事例と、資料 5 に見られる大都の商人の役割とを参照して、税制と地域の有力者との関係について探究する。